



令和8年9月8日
独立行政法人国立科学博物館

（情報解禁は
15日14時以降
新聞は夕刊以降）

重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)新規 13 件の登録について

独立行政法人国立科学博物館(館長:真鍋 真)は、平成 20(2008)年度から、重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)の登録を実施しています。

令和 8(2026)年度は、自動車に搭載された世界初の電動パワーステアリング(コラムアシストタイプとラックアシストタイプ)や、現在国内唯一となる、ガラス製魔法瓶用の真空二重瓶製造装置など、新たに 13 件を登録する運びとなりました。今回(第 19 回)の登録により、合計 408 件の登録となります。

また、今回登録される資料の所有者への登録証授与式と、パネル展(一部実物資料を展示)を開催いたします。

つきましては、下記広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

■「重要科学技術史資料」 別紙一覧の 13 件

■ 登録証授与式

日 時 令和8年9月 29 日(火) 14:00～14:30(13:30 受付開始)
会 場 国立科学博物館 日本館2階 講堂(東京都台東区上野公園 7-20)

■ パネル展(一部実物資料を展示)

期 日 令和8年9月 29 日(火)～10 月 18 日(日)
会 場 国立科学博物館 日本館1階 中央ホール
*通常入館料(一般・大学生 630 円。高校生以下および 65 歳以上は無料)
最新の情報は Web サイト(<https://www.kahaku.go.jp>)でご確認下さい。

※登録資料のデジタル写真をご希望の方は、使用目的等お書き添えの上、E-mail または、お問い合わせフォームからご連絡ください。(10 月末まで提供可能です。)

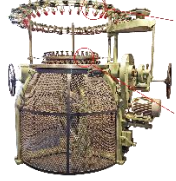
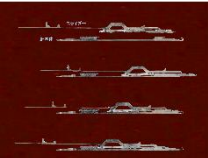
※※9月 29 日(火)の授与式等での取材の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 担当:内尾・松本
〒305-0005 つくば市天久保 4-1-1

E-mail sts2006@kahaku.go.jp URL <https://sts.kahaku.go.jp/>

令和8(2026)年度登録 重要科学技術史資料 一覧

番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00396 号		【日本の手袋編機の進化過程を表す三つの代表的編機】 (1) ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機 (2) 全自動手袋編機(角型) (3) 全自動シームレス手袋編機 SFG® —完全無縫製ニットに繋がる進化を遂げた三世代の手袋編機—	株式会社 島精機製作所	(1) 1955 (2) 1964 (3) 1970
第 00397 号		パターンホイール方式シングルニットジャカード丸編機(PFW) —日本初の安全性と高速回転性を両立させた パターンホイール方式の大口径丸編機—	株式会社 福原精機 製作所	1962
第 00398 号		スライドニードル® —4枚ベッドホールガーメント®横編機と 多彩な編成技術を実現させた革新的な多機能編針—	株式会社 島精機製作所	1997
第 00399 号		ホールガーメント®横編機 MACH2X —世界に類を見ない4枚ベッドの完全無縫製横編機—	株式会社 島精機製作所	2007
第 00400 号		ハーモニックドライブ® Rシリーズ —産業用ロボット興隆のきっかけとなった波動歯車減速機—	株式会社 ハーモニック・ ドライブ・ システムズ	1982年及 び1989年 の図面を元 に2025年 に再製作
第 00401 号		精密減速機 RV シリーズ RV-135 —世界中の産業用ロボットを動かす歯車型減速機—	ナブテスコ 株式会社	1985
第 00402 号		HAL-3 —一人の生体電位信号による運動機能改善装置の実用に道を開いた—	CYBERDYNE 株式会社	2001

番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00403 号		コラムアシストタイプ電動パワーステアリング —世界初の軽自動車用電動パワーステアリング—	株式会社 ジェイテクト	1988
第 00404 号		初代 NSX 搭載ラックアシストタイプ普通車用電動パワーステアリング —世界初の普通車用電動パワーステアリング—	本田技研工業 株式会社	1990
第 00405 号		ガラス製魔法瓶用の真空二重瓶製造装置 (1) 絞り瓶製造ライン (2) 両口瓶製造ライン —日本の魔法瓶文化を支えたガラス製中瓶の製造ライン—	象印ファクトリ ー・ジャパン 株式会社 (象印マホービン 株式会社)	(1) 1965 (2) 1983
第 00406 号		レバー式エアーポット PNB 型 —優しい操作性を新たな機構で実現しエアー式ポットの普及に貢献—	タイガー 魔法瓶 株式会社	1985
第 00407 号		押すだけポット「中せんなし『みエ〜る』」 AAB 型 —着脱不要を実現したエアーポットの中栓革命—	象印 マホービン 株式会社	1987
第 00408 号		アクト・ステンレスポット(AF 型、AS 型) —業界初の高真空ステンレス製魔法瓶—	サーモス 株式会社	1978

重要科学技術史資料の登録制度について ～未来技術遺産の登録～

国立科学博物館では、我が国の科学技術や産業技術の発展を示す重要な科学技術史資料や、国民生活、経済、社会、学術や文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料の保存と活用を図るための調査・研究を行うとともに、本制度を通じて我が国の科学技術や産業技術の発展の証となる歴史的資料を文化として保存する意識が涵養されることを期待しています。

1. 登録制度について

本制度は国立科学博物館が行ってきた調査・研究をもとに、科学技術史資料のうち、「科学技術の発達上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもの」や「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの」に該当する資料を選定し、「重要科学技術史資料登録台帳」に登録するものです。

2. 登録制度の内容

○台帳への登録及び登録証等の交付

「重要科学技術史資料登録台帳」登録時に、所有者に国立科学博物館から重要科学技術史資料として登録されたことを示す登録証を交付します。また、記念盾を授与します。



○台帳の公開

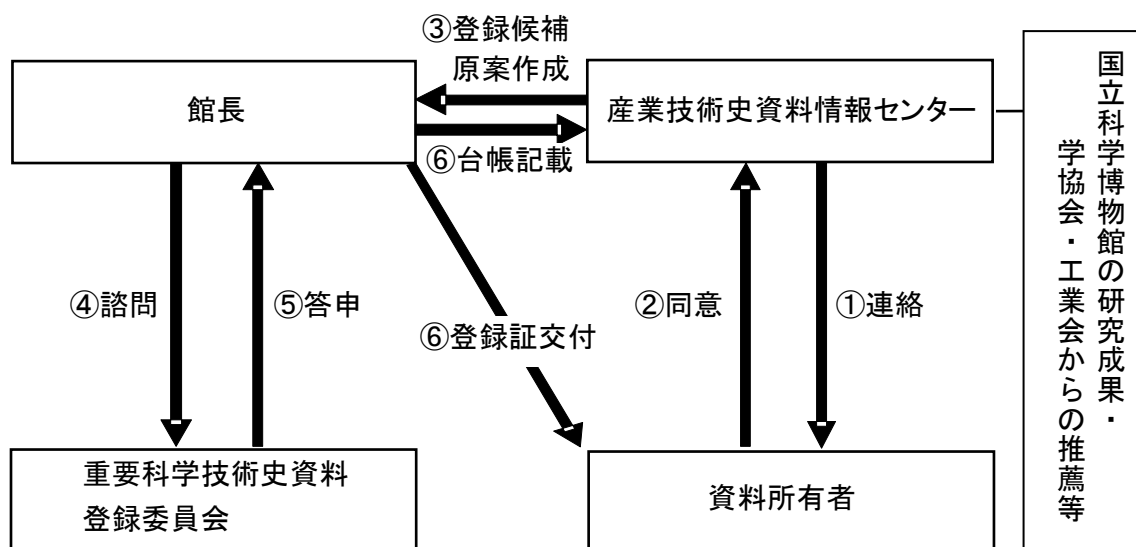
登録された資料の情報が分かるように、台帳の情報の一部は当館のウェブサイトを通して公開いたします。

○登録後の資料の状況の記録

登録資料の移動・破損等の状況等については所有者から連絡を受け、その時点の状況をできる限り記録します。また、定期的に国立科学博物館から現状の確認の問い合わせを行います。

3. 登録までの流れ

登録は、国立科学博物館が行ってきている産業技術史資料の「所在調査」[令和8(2026)年4月現在、15,783 件]を基礎として、個別技術分野の技術開発の歴史的経緯を系統的に調査・研究する「技術の系統化」調査を行い、現状確認等を経て、登録候補を選出しました。その後、外部有識者による重要科学技術史資料登録委員会(委員長:三上喜貴)への諮問・審議・答申の結果を踏まえて決定に至ります。



重要科学技術史資料登録委員会委員

岩田修一 東京大学 名誉教授

大島まり 東京大学生産技術研究所 教授

岡本拓司 東京大学大学院総合文化研究科 教授

小平紀生 日本ロボット学会 名誉会長

佐藤年緒 日本科学技術ジャーナリスト会議 理事

中山俊介 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 元近代文化遺産研究室長

波多野純 日本工業大学 名誉教授

◎三上喜貴 開志専門職大学 元副学長

◎:委員長

令和8(2026)年6月現在

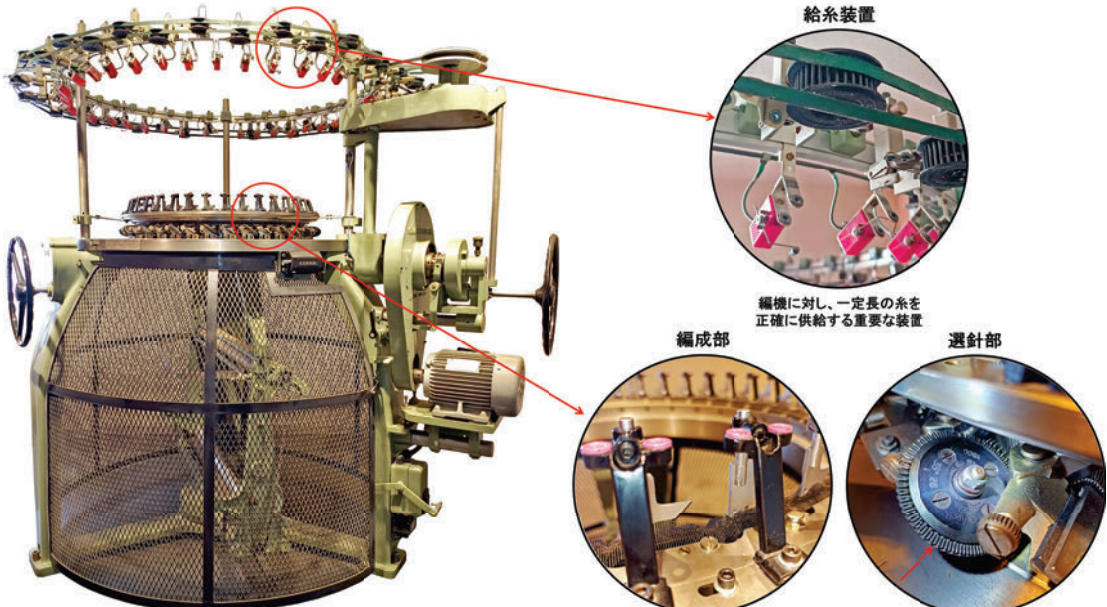
完全無縫製ニットに繋がる進化を遂げた三世代の手袋編機

登録番号	第00396号
名称 (型式等)	日本の手袋編機の進化過程を表す三つの代表的編機 (1) ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機 (2) 全自動手袋編機 (角型) (3) 全自動シームレス手袋編機 SFG [®]
所在地	和歌山県和歌山市 シマセイキ フュージョンミュージアム
所有者 (管理者)	株式会社島精機製作所
製作者(社)	(1) の五指連続手袋編機 株式会社森精機製作所 (現 DMG森精機株式会社) (1) のゴム糸挿入装置 島正博 (島精機製作所創業者) (2), (3) 株式会社島精機製作所
製作年	(1)1955年 [1948年 (五指連続手袋編機)、1955年 (ゴム糸挿入装置)] (2) 1964年 (3) 1970年
選定理由	本資料は日本特有の作業手袋 (軍手) 編機の歴史上重要な三機種である。(1)は手袋本体と手首編地との連続編成 (一体化) することで縫製工程を無くすと共に、ゴム糸挿入により着脱を容易化、(2)は各部位の選針、編成位置、駆動幅、シンカー、糸切換等の制御を全自動化、(3)は一針毎の選針装置を導入し指先と指股のかがり作業を不要としてシームレス化——を各機で実現してきた。五本指靴下編機、さらにはコンピュータ・サーボモータ・生産技術の進歩により1995年に誕生した無縫製横編機を発想させた編機の技術系譜として重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの) 二ーイ (国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの)

公開・非公開	公開
写 真  (1) ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機 ※ゴム糸挿入装置: 赤いラインで囲まれた部分 (2) 全自動手袋編機(角型) (3) 全自動シームレス手袋編機 SFG[®]	

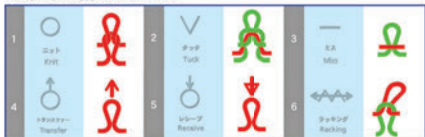
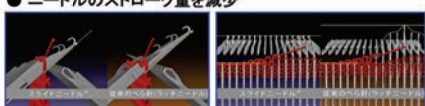
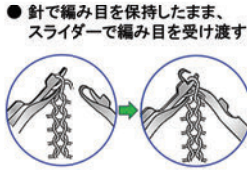
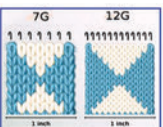
日本初の安全性と高速回転性を両立させたパターンホイール方式の大口徑丸編機

登録番号	第00397号
名称 (型式等)	パターンホイール方式シングルニットジャカード丸編機 (PFW)
所在地	兵庫県神戸市西区井吹台東町
	株式会社福原精機製作所
所有者 (管理者)	株式会社福原精機製作所
製作者(社)	株式会社福原精機製作所
製作年	1962年
選定理由	本資料は、1961年（昭和36年）にアメリカのキャンバー社（現 モナーク社）との技術提携を契機として開発・製造されたパターンホイール機構（複雑な柄編みを行うための選針方式）を搭載した丸編機である。本機は国内で初めて安全性と高速回転性の双方を備えた大口徑シングルニットジャカード丸編機として生産され、延べ万台以上が世界市場へ出荷され、国際的にも高く評価された。下着用途が主であった丸編み生地が、Tシャツや Poloシャツなどの外衣へ用途が拡大される、その原点となった丸編機として非常に重要である。
登録基準	一ーイ （科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの）
	二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写 真	 給糸装置 編成部 選針部 パターンホイール方式シングルニットジャカード丸編機 (PFW) ※PFWとは、福原精機製作所の英訳名 “PRECISION FUKUHARA WORKS” に由来。 編機に対し、一定長の糸を正確に供給する重要な装置 糸を編針で編む部分 編針を上げ下げして柄出しを行う部分 (赤い矢印がパターンホイール)

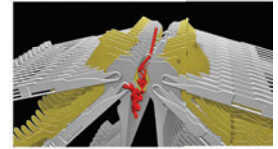
4枚ベッドホールガーメント®横編機と多彩な編成技術を実現させた革新的な多機能編針

登録番号	第00398号
名称 (型式等)	スライドニードル®
所在地	和歌山県和歌山市 シマセイキ フュージョンミュージアム
所有者 (管理者)	株式会社島精機製作所
製作者(社)	株式会社島精機製作所
製作年	1997年
選定理由	本資料は、150年余続くべら針を凌ぐ画期的な多機能編針である。①高品質な無縫製ニットが編成可能な4枚ベッド横編機を実用化、②編成や目移し時の編針ストロークとキャリッジをコンパクトにして高速化、③針に編み目を保持したままスライダーで他の編み目を受け渡す機能等で編柄の多様化を創出、④編成糸の太さや編み目の粗密の範囲を広げてゲージフリー化が可能となり、編機ゲージの選定負担を軽減——など、将来的にも高付加価値ニット衣類や他業種における産業素材の編地を創製できる編針として極めて重要である。
登録基準	一ーハ （新たな科学技術分野の創造に寄与したもの） 二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写 真	 スライドニードル® 針本体とスライダーの独自の二枚組構成であり、その相対移動により、針本体の先端に設けたフックを開閉させることで、多様な編成を可能にした発明である。 [参考：特許第2946323号、島正博 (1997).] SHIMA SEIKI ● 従来の編成テクニック  ● 増加した編成テクニック ⇒ 12種類に倍増  ● ニードルのストローク量を減少  ● 針で編み目を保持したまま、スライダーで編み目を受け渡す  ● ゲージ[G]の意味 -粗密の選択域が広がる- 

世界に類を見ない4枚ベッドの完全無縫製横編機

登録番号	第00399号
名称 (型式等)	ホールガーメント [®] 横編機 MACH2X
所在地	和歌山県和歌山市 シマセイキ フュージョンミュージアム
所有者 (管理者)	株式会社島精機製作所
製作者(社)	株式会社島精機製作所
製作年	2007年
選定理由	本資料は、スライドニードル [®] を装備した完全無縫製ニット（ホールガーメント [®] ）を編成する2007年開発の4枚ベッド横編機である。①コンパクト化したキャリッジの往復ストローク及び反転速度の最適な制御、②キャリッジ走行スピードの高速化、③極限まで無駄を省いた制御プログラムの搭載等による高いコストパフォーマンスの実現。結果として短時間でファッション性の豊かな完全無縫製のニット衣服を三次元編成でき、さらに医療・スポーツ等の新分野への編地領域を開拓した革新的な横編機として、その歴史上極めて重要である。
登録基準	一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの） 二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写 真	 WHOLEGARMENT[®] ホールガーメント[®]横編機 MACH2X  キャリッジと4枚ベッドのサイド・ビュー 左側： 前上ベッド(後身頃裏目編成) 前下ベッド(前身頃表目編成) 右側： 後上ベッド(前身頃裏目編成) 後下ベッド(後身頃表目編成) 左手奥にキャリッジがあり、リムを内蔵。 それが動くことでスライドニードルが動く。  スライドニードルを搭載した4枚ベッド 卓越した目移し機能を発揮し、高品質で 綺麗な編地を創出する（イメージ図）  縫製作業を一切必要とせず、製編機のみで 三次元的にニットを編んでゆく（イメージ図）

産業用ロボット興隆のきっかけとなった波動歯車減速機

登録番号	第00400号
名称 (型式等)	ハーモニックドライブ® Rシリーズ
所在地	長野県安曇野市
	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 有明工場
所有者 (管理者)	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
製作者(社)	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
製作年	1982年及び1989年の図面を元に2025年に再製作
選定理由	本資料は産業用ロボット、特に多関節ロボットに多用されている減速機である。電動サーボ式産業用ロボットに求められる大減速比で、トルクを拡大する歯車機構として、米国のC. W. マッサーが発明した「波動歯車装置」(Strain Wave Gearing)を採用し、耐衝撃負荷、精度、ねじれ剛性など実用化に必要な諸条件をロボットメーカーと協同で実現していった。産業用ロボットの普及元年以前の1977年に開発されたRシリーズは、電動サーボ式産業用ロボットの実用化に大きく寄与し、1980年代のロボット産業初期成長の原動力となった点で重要である。
登録基準	一ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの) 二ーロ (日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの)

公開・非公開	非公開
写真	

世界中の産業用ロボットを動かす歯車型減速機

登録番号	第00401号
名称 (型式等)	精密減速機RVシリーズ RV-135
所在地	三重県津市
	ナブテスコ株式会社津工場
所有者 (管理者)	ナブテスコ株式会社
製作者(社)	ナブテスコ株式会社
製作年	1985年
選定理由	本資料は、現在産業用ロボットに標準的に使用されている代表的な減速機である。もともと建機に使用されていた減速機をロボット向けに開発した製品で、産業用ロボットの減速機として求められる大減速比、小型軽量、耐衝撃負荷、高剛性、高精度などを実現するため、サイクロ機構と遊星歯車を組み合わせた機構を採用し、1985年にロボット専用品として開発されたRV-135は、多くのロボットの機械としての性能向上に寄与した製品群の最初のモデルとして重要である。
登録基準	一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの） 二ーロ （日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの）

公開・非公開	非公開
写真	 

人の生体電位信号による運動機能改善装置の実用に道を開いた

登録番号	第00402号
名称 (型式等)	HAL-3
所在地	茨城県つくば市
	サイバーダイnstスタジオ
所有者 (管理者)	CYBERDYNE株式会社
製作者(社)	筑波大学サイバニクス研究室（山海嘉之ほか、CYBERDYNE株式会社創業者）
製作年	2001年
選定理由	本資料は微弱な生体電位信号を検出することにより意図した動作を実現するロボットスーツ（装着型サイborg）の実用化第一号である。筑波大学の山海嘉之らによる人体の外骨格システムとパワーアシストの基礎的な研究を基に、各種センサを備えて、人体の動きを違和感なく補助することができる。実験室モデルであるHAL-1、HAL-2を経て、制御用コンピュータなどをバックパックに収納し可搬可能とした。後継機は欧米東南アジア各国でも医療機器として承認を得ており、脳神経系由来の生体電位信号を基に身体機能を補助・改善・拡張する新概念の治療機器（医療機器）の実用化に道を開いた装置として重要である。
登録基準	一ーハ （新たな科学技術分野の創造に寄与したもの）
	二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写真	

世界初の軽自動車用電動パワーステアリング

登録番号	第00403号
名称 (型式等)	コラムアシストタイプ電動パワーステアリング
所在地	愛知県刈谷市
	株式会社ジェイテクト
所有者 (管理者)	株式会社ジェイテクト
製作者(社)	光洋精工株式会社（現 株式会社ジェイテクト）
製作年	1988年
選定理由	本資料は油圧式パワーステアリングの装着が難しかった軽自動車のパワーステアリングとして初めて、1988年鈴木自動車工業株式会社（現 スズキ株式会社）セルボ特別仕様車に搭載された電動パワーステアリングである。パワーアシスト機構はステアリングホイール直下のコラム部（車室内）に設けられている。世界初の自動車用電動パワーステアリング採用であり、1994年日刊工業新聞・環境調査センター共催の「環境賞」を自動車部品として初めて受賞するなど、省エネルギー、燃費向上に大きく寄与した点で重要である。
登録基準	一一ロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	公開
写 真	

世界初の普通車用電動パワーステアリング

登録番号	第00404号
名称 (型式等)	初代NSX搭載ラックアシストタイプ普通車用電動パワーステアリング
所在地	栃木県芳賀郡芳賀町
	本田技研工業株式会社
所有者 (管理者)	本田技研工業株式会社
製作者(社)	本田技研工業株式会社
製作年	1990年
選定理由	本資料は、1990年に本田技研工業株式会社から発売された新生代スポーツカーの初代NSXに搭載された、普通車用ラックアシストタイプ電動パワーステアリングである。従来の普通車用油圧式パワーステアリングと比較して、その高度な自由度を活かし、操舵力、車速、転舵速度から狙いとする操舵特性に合わせて操舵力をアシストし、望ましい操舵特性を得ることが可能となった。 また、エンジン動力を不要とし、省エネルギー化も果たした次世代のパワーステアリングシステムとして開発された点で重要である。
登録基準	一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	非公開
写 真 ラックアシストタイプ電動パワーステアリング   NSX	

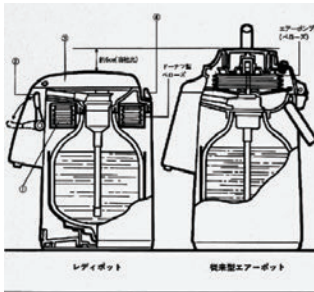
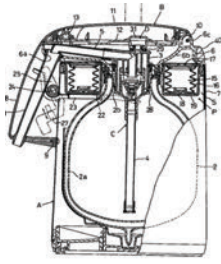
日本の魔法瓶文化を支えたガラス製中瓶の製造ライン

登録番号	第00405号
名称 (型式等)	ガラス製魔法瓶用の真空二重瓶製造装置 (1) 絞り瓶製造ライン (2) 両口瓶製造ライン
所在地	大阪府大阪市 象印ファクトリー・ジャパン株式会社 福町工場
所有者 (管理者)	象印ファクトリー・ジャパン株式会社 (象印マホービン株式会社)
製作者(社)	(1) 日本硝子商事株式会社 (現 ニプロ株式会社) (2) 株式会社ニッショー (現 ニプロ株式会社)
製作年	(1) 1965年、(2) 1983年
選定理由	本資料は1965年に設置したガラス製魔法瓶の真空二重瓶製造設備である。当時、生活様式の変化もあり、一家に一台ガラス製魔法瓶を保有した時代であり、それを支えたのが(1)の絞り瓶製造ラインである。また、エアーポットの付加機能として1983年に水量表示が設けられ残量が見えるようになった。その製品に内蔵する中瓶を製造している設備が(2)の両口瓶製造ラインである。熟達した人材により保全活動を継続し、当時の設計レベルを堅持した高品質なガラス製品を継続的に量産している設備として、極めて重要である。
登録基準	一ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの) 二ーイ (国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの)

公開・非公開	非公開
写真	 口部封止工程 @絞り瓶製造ライン  絞り瓶製造ライン (上) 口部封止、(下) 口部、胴部封止 製造ライン 全景 瓶メッキ工程 ガラス製中瓶【完成】

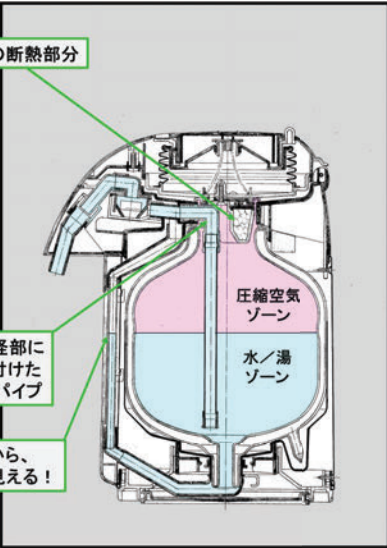
優しい操作性を新たな機構で実現しエアー式ポットの普及に貢献

登録番号	第00406号
名称 (型式等)	レバー式エアーポット PNB型
所在地	大阪府門真市
	タイガー魔法瓶株式会社 本社 ショールーム
所有者 (管理者)	タイガー魔法瓶株式会社
製作者(社)	タイガー魔法瓶株式会社
製作年	1985年
選定理由	本資料は、座ったままでも、指に力を入れずとも、爪を気にせず注湯操作ができるよう工夫された魔法瓶である。女性ソフト開発チームによる調査・研究活動などにより、軽い操作性と、容量を減らさずに全高を下げることに重視された。そこで、レバーに「てこ」の原理を利用したほか、ポンプ部を中瓶肩上部に納めた構造により従来品から60 mm 全高を下げることに可能となった。軽いレバー操作で注湯できる操作性は多くの消費者に受け入れられ、エアー式ポットのさらなる普及に貢献した製品として重要である。
登録基準	ニーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写 真  レバー式エアーポット  従来品との構造比較  新開発のレバー方式  断面構造図	

着脱不要を実現したエアープットの中栓革命

登録番号	第00407号
名称 (型式等)	押すだけポット「中せんなし『みえ〜る』」 AAB型
所在地	大阪府大阪市 まほうびん記念館
所有者 (管理者)	象印マホービン株式会社
製作者(社)	象印マホービン株式会社
製作年	1987年
選定理由	本資料は、中栓を着脱することなく給排水が可能な、利便性を格段に向上させたガラス製魔法瓶の「中栓なしエアープット」である。従来は断熱機能と注水経路を併せ持つ中栓があり、給排水時にはその都度中栓を着脱する手間を要していた。そこで中栓から断熱部分を分離して外蓋下側に固定し、肩口径部前方に着脱可能な揚水パイプを取り付ける斬新な改良を行ったもので、この新規構造を搭載した本エアープットは、業界に広がり、ステンレス製魔法瓶にも踏襲され、今日のエアープット文化を創出した点で非常に重要である。
登録基準	一ーイ （科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）

公開・非公開	公開
写 真  押すだけポット「中せんなし『みえ〜る』」 AAB型 外 観  外蓋下側の断熱部分 肩口径部に取り付けた揚水パイプ ここから、水位が見える！ カット断面部分  圧縮空気ゾーン 水／湯ゾーン 断面構造図	

業界初の高真空ステンレス製魔法瓶

登録番号	第00408号
名称 (型式等)	アクト・ステンレスポット (AF型、AS型)
所在地	東京都港区
	サーモス株式会社
所有者 (管理者)	サーモス株式会社
製作者(社)	日本酸素株式会社 (現 日本酸素ホールディングス株式会社)
製作年	1978年
選定理由	本資料は、日本における業界初の高真空ステンレス製魔法瓶である。ガラス製の弱点を克服した、割れない画期的な魔法瓶として、1978年に発売された。保温効力が高性能であるが、口径は広く、断熱と使用性の二面を考慮した設計となっている。デザインもステンレスを全面に打ち出し、ボトルの常識を覆すインパクトがあった。この製品をきっかけに、従来のガラス製魔法瓶を生産していた企業が、各社独自の製法で参入し、ステンレス製魔法瓶の市場を拡大し、現在、各自マイボトルとして使用する生活必需品として浸透する先駆けとなった魔法瓶であり、極めて重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)
	二ーイ (国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの)

公開・非公開	非公開
写 真  	